

2022年10月25日

会員様 各位

年末クリスマスパーティー・年始餅つき取止めについて

日頃のご高配に厚く感謝申し上げます。

コロナ感染は完全終息には至らず、ウイルス変容とともに減少・増加の波を幾度も繰り返しております。マリーナ関係者の東京在住の家族も2名（基礎疾患のない19歳・21歳、いずれも3回の予防接種者）が罹患、ともに9度3分の高熱を発し、非常なほどの痛みと咳を伴い、一定期間の外出禁止ならびに自宅静養を経て、平熱に下がった後も、一人は未だに嗅覚・味覚が完全には戻っていない状況となっております。高熱時、平熱に戻った後も含め、流行性感冒とは明らかに症状が酷く、異質なものであったとのこと。罹患はこの10月の最近であり、コロナは、いつどこで誰が罹患してもおかしくないほどに、その脅威は身近かつ未だに油断できないものと申せます。

症状は、かなりの個人差があるようですが、認識・留意すべき点として、呼吸器系疾患・高血圧・糖尿病・心臓病・睡眠時無呼吸症候群等の基礎疾患該当の方は、重症化リスクが高いと以前から報道されている通りです。マリーナ会員様は、会社経営層、医師・歯科医師等、各々御身を置かれる組織におけるトップ、キーパーソンの方々が多くいらっしゃるため認識しております。こうした立場の方がコロナ罹患によって、組織そのものが機能不全に陥ることもあり得ると思料致します。また、基本的に壮年以上の方が多いう年齢的な面からも、重症化リスクの恐れが十分懸念されます。

特に多人数での飲食を伴う会において、いわゆる黙食をお願いしても、これでは最も重要な目的でもある懇親が図れず、意味をなさないものとなってしまいます。何より、クラスターをマリーナ主催の会から発生させてしまった場合、会員の皆様・ご家族その他にまで累を及ぼす多大なご迷惑以上の事態にもなりかねず、病状次第では最悪のケースも想定されないわけではございません。各方面における行動制限は徐々に緩やかな措置に移行してきている感がございますが、飲食を伴う大人数での会の開催は上記により、時期尚早と判断し、取止めと致します。楽しみにされていた方には、誠に申し訳ございませんが、ご理解・ご了承賜りますようお願い申し上げます。 以上

富士山羽衣マリーナ株式会社 取締役 支配人 鈴木伸幸